

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

難治性、再発非ホジキンリンパ腫における当院での ACES 療法（シタビリン、加ホプラチン、エポシド、ステロイド）の有用性

1. 研究の対象および研究対象期間

調査対象情報：2006年1月1日から2017年12月31日に当院血液内科で ACES 療法を施行した患者

調査対象期間：2006年1月1日から2017年12月31日

2. 研究目的・方法

研究背景：難治性、再発非ホジキンリンパ腫に対して標準的な化学療法のレジメンは依然として確立されていない。ACES（シタビリン、加ホプラチン、エポシド、ステロイド）療法は他の救済化学療法と比較し腎機能障害や胃腸障害が少なく、救済化学療法の一つとして有益とされる。前治療の治療効果、腎機能を含めた血液検査などの臨床データを用い、ACES の効果と有害事象等を後方視的に検討する。

研究期間

医学部における人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、病院長の研究実施許可後から2018年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2006年1月1日から2017年12月31日に当院血液内科で ACES 療法を施行した患者の診療録

調査項目：2006年1月から2017年12月に当院血液内科で ACES を施行した患者診療録の中から患者の性、年齢、疾患、病型、前治療歴、ACES 投与日、投与サイクル、生存状況、生死最終確認日、血算、LDH、Cr、AST、ALT、CRP、SIL2-R、Ki-67 陽性率などを調査項目とする。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部内科学講座血液内科部門 職名：助教(医科) 氏名：蒲澤 宣幸

住所：東京都品川区旗の台1-5-8

電話番号：03-3784-8338

研究責任者：蒲澤 宣幸